17 日本コバ

美しい落葉樹林をたどる鈴鹿支脈の静かな山

山岳の特徴

付近の観光

にほんこば 934・2m

永源寺ダムから見た日本コバ

御池岳の南西、鈴鹿山脈の支脈に位置する。日本コバという珍しい山名にひかれて多くの登山者が訪れている。そのために、登山道もよく踏まれて歩きやすくなっているが、谷を渡ったり、岩場を通過するので慎重に行動したい。

マイカー利用が便利だ。**如来堂**バス停先の藤川橋付近に数台の駐車スペースがある。如来堂バス停から県道を行くと登山口がある。階段の上に登山届ボックスがあるので記入して出発しよう。左手に春日社を見て谷へ下り、1回目の徒渉する。

2回目の徒渉点。水量が多い時は注意する

藤川谷を下に見ながら、山腹の道を進む。何カ所か小さな谷や岩を越えていく。2回目の徒渉点は谷の広い地点。明るい場所なので休憩には適している。ここは増水時は渡れない。

岩屋から眺めた鈴鹿の山々

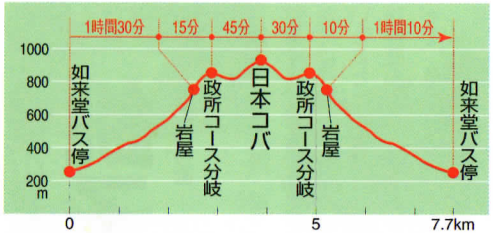
谷を渡ると、植林帯がしばらく続いて3回目の徒渉点になる。ここを渡ると、美しい落葉樹林の中を行き、岩場に出る。大岩の滑りやすい足場を注意して登る。登りきった左手に**岩屋**がある。このコースで最高の展望所だ。正面に竜ガ岳が見える。新緑、紅葉ともすばらしい。岩屋は小さな洞窟で中にも入れる。10年ほど前は、コウモリが岩の天井からぶら下がる姿が見られた。

岩屋の前から先ほど登った場所に戻り、松や岩が混じる登山道を進む。**政所コース分岐**まで美しい景観だ。分岐から道標に従って左手に行く。緩やかに下って湿地に出る。ぬかるんだ場所を飛んで、沢を渡り、渓流を見ながら下る。この付近が勘違いしやすい場所だ。そのまま沢を下ってしまうと谷が狭くなり通行できない。小さな沢の源流を登る道を確かめて、わずかな登りで尾根の鞍部に着く。

鞍部から右手の広い尾根を登る。樹林の中の快適な道を登ると、**日本コバ**山頂に出る。山頂は切り開かれて広い。大きな杉の木が山頂の風景に調和している。西方向の湖東平野が眺められる。

下山は往路を戻るが、先ほどの沢を上流に登り、湿地に出て**政所コース分岐**に出るように確認しながら下るようにしたい。

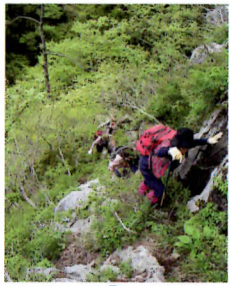
（山本武人）



登山適期

チェックポイント

❶如来堂バス停先の県道の横の階段が登山口



❷岩屋の手前の岩場の登り

❸政所コースの分岐。道標に従って左に進む

❹広々とした日本コバ山頂

■登山シーズン

3月下旬から12月中旬。新緑は4月下旬～5月中旬。紅葉は10月中旬～11月中旬。夏場でも谷間を行くため涼しい。木陰も多いので日差しも防げる。

■ワンポイント・アドバイス

＊コバとは、憩いの場、木場などと言われる。日本コバは永源寺ダムから眺めると、山頂が平らで丘のように見える。三角点の付近は切り開かれて西方面が展望できる。

＊バスの場合、近江鉄道八日市駅から近江鉄道バス御園線で永源寺車庫へ、コミュニティバス政所線に乗り換えて如来堂下車。朝の便がないので、マイカーを利用する。

＊徒渉を3回する。増水時には注意が必要。特に岩は苔などで滑りやすいので要注意。

＊県道から登山口の階段を登った所に登山ボックスがあるので記入してから登りたい。

＊岩屋の岩場は初心者は注意。特に下山時の方が危険なので気をつけたい。

＊政所コース分岐から湿原、沢に入って下流へ歩き、小さな谷を登るため、下山時などうっかりすると道を間違いやすいので注意が必要。

＊政所コースは踏み跡もしっかりしているが、尾根の分岐で間違いやすいので初心者はやめた方がよい。

■問い合せ

東近江市役所永源寺支所☎0748-27-1121、近江鉄道バス八日市営業所☎0748-22-5511

■2万5000図

百済寺

コースの難易度

体力度	危険度

日帰り

歩行時間：4時間20分
歩行距離：7.8km
累積標高差：＋764m －764m